

札幌市ヤングケアラーに関する実態調査（速報）

札幌市が行った「ヤングケアラーに関する実態調査」のうち、「中高生の生活実態に関するアンケート調査」について、調査結果の速報値を公表いたします。

なお、確定値については、「学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査」の調査結果と併せて、1月下旬を目途に公表する予定となっております。

<中高生の生活実態に関するアンケート調査>

1 調査目的

札幌市におけるヤングケアラーと思われる子どもを正確に把握するため、中学生や高校生に対して実態調査を実施し、教育現場や要保護児童対策地域協議会等においてヤングケアラーと思われる子どもを早期発見し、支援につなげる仕組みづくりの検討を行うための資料とすることを目的とする。

2 調査対象

市立の中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校（中学部・高等部）に在籍する生徒

3 調査方法

各学校を通じて生徒に調査協力依頼文を配布するとともに、配布時には教員から生徒へ調査の趣旨等を説明した。回答は任意。WEB環境にない生徒や紙媒体を希望する生徒等には紙媒体の調査票を配布し、回答は生徒から直接子ども未来局宛て返信用封筒で回収した。

4 調査期間

令和3年11月12日（金）～令和3年12月10日（金）

※当初予定の調査期間（11月30日（火）まで）を延長

5 回収結果

区分	調査対象数	有効回答数	回収率
中学生	約 44,000	3,018	約 6.9%
高校生	約 7,100	826	約 11.6%
計	約 51,100	3,844	約 7.5%

6 結果概要

一部の項目において、未回答等があるため、合計は必ずしも一致しない

(1) ヤングケアラーの割合（自分が世話をしている家族の有無）

自分が世話をしている家族が「いる」と回答した人の割合は、中学生で4.3%、高校生で4.1%となっている。

【札幌市調査結果】

区分	いる
中学生	4.3%
高校生	4.1%

【参考：国調査結果（令和2年12月実施）】

区分	いる
中学2年生	5.7%
全日制高校2年生	4.1%
定時制高校2年生	8.5%

(2) ヤングケアラーの状況

① ヤングケアラーが世話をしている家族の続柄

自分が世話をしている家族との続柄は、中学生・高校生ともに「きょうだい」の割合が最も高くなっている。

区分	母	父	祖母	祖父	きょうだい	その他
中学生	14.0%	7.0%	9.3%	4.7%	72.1%	1.6%
高校生	17.6%	5.9%	17.6%	5.9%	58.8%	0.0%

※複数回答

② 世話の頻度

世話をしている頻度は、中学生・高校生ともに「ほぼ毎日」の割合が最も高くなっている。

区分	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数日
中学生	61.2%	17.8%	12.4%	4.7%
高校生	47.1%	26.5%	20.6%	5.9%

③ 平日1日あたりの世話にかかる時間

平日1日あたりの世話にかかる時間は、中学生及び高校生ともに「日によって違う」が4割程度を占める。また、「7時間以上」が中学生で2.3%、高校生で5.9%となっている。

区分	3時間未満	3～7時間	7時間以上	わからない	日によって違う
中学生	19.4%	6.2%	2.3%	31.8%	40.3%
高校生	20.6%	5.9%	5.9%	29.4%	38.2%

④ 学校生活への影響

学校生活への影響は、中学生・高校生ともに、「自分の自由になる時間が取れない」、「勉強する時間がない」、「自分が自由に過ごせる場所がない」が高い。

区分	自分の自由になる時間が取れない	勉強する時間がない	自分が自由に過ごせる場所がない	睡眠が十分に取れない	友人と遊べないことがある
中学生	34.9%	25.6%	23.3%	15.5%	15.5%
高校生	35.3%	26.5%	32.4%	20.6%	20.6%

※複数回答。回答率が高い選択肢を抜粋。

⑤ ヤングケアラーが世話の悩みについて相談した経験の有無

中学生・高校生ともに、約7割が「ない」と回答している。

また、その理由は、「誰かに相談するほどの悩みではない」が最も高く、「家族外の人に相談するような悩みではない」、「相談しても状況が変わるとは思わない」、「相談した相手を困らせたくない」、「家族のこのため、はなしにくい」も高い。

区分	ある	ない
中学生	27.1%	72.9%
高校生	32.4%	67.6%

区分	誰かに相談するほどの悩みではない	家族外の人に相談するような悩みではない	相談しても状況が変わるとは思わない	相談した相手を困らせたくない	家族のこのため、話しにくい
中学生	68.1%	20.2%	18.1%	18.1%	11.7%
高校生	52.2%	8.7%	17.4%	13.0%	13.0%

※複数回答。回答率が高い選択肢を抜粋。

⑥ 学校の先生や周りの大人に支援してほしいこと

中学生・高校生ともに「特にない」が最も高いが、中学生では「自分の自由に過ごせる場所がほしい」が19.4%、高校生では「自分の今の状況について話を聞いてほしい」が23.5%と割合が高くなっている。

区分	特にない	自分の自由に過ごせる場所がほしい	自由に使える時間が欲しい	学校の勉強や受験勉強など学習サポートをしてほしい	自分の今の状況について話を聞いてほしい
中学生	56.6%	19.4%	17.8%	15.5%	10.9%
高校生	52.9%	8.8%	14.7%	2.9%	23.5%

※複数回答。回答率が高い選択肢を抜粋。

(3) ヤングケアラーという言葉の認知度

「聞いたことがあり、内容を知っている」と回答した人は、中学生で21.8%、高校生で32.1%となっている。また、中学生・高校生の4割以上がヤングケアラーという言葉に「聞いたことがある」と答えている。

【札幌市調査結果】

区分	聞いたことがある		聞いたことはない
	内容を知っている	良く知らない	
中学生	21.8%	18.9%	59.3%
高校生	32.1%	15.4%	52.5%

【参考：国調査結果（令和2年12月実施）】

区分	聞いたことがある		聞いたことはない
	内容を知っている	良く知らない	
中学2年生	6.3%	8.8%	84.2%
全日制高校2年生	5.7%	6.9%	86.8%
定時制高校2年生	6.0%	7.7%	85.5%